



延岡市旭町にある旭化成の煙突（高さ180び）で塗り替え作業が始まり、工都延岡のランドマークがまるで「帽子」をかぶったような姿になっている。同社によると、航空

34年ぶりお化粧直し

旭化成 煙突の塗装始まる

延岡

法で高さ60以上の細長い構造物に義務づけられている赤白の塗装が色あせてきたため、

昭和59年以来34年ぶりに「お化粧直し」するという。

帽子に見えるのは、塗料などが飛散しないようにするための養生ネット。ゴンドラに作業員が乗り、上から順に塗っていく。作業は、今月1日から始まり、来年1月末までに終わる予定。

煙突は、旭化成延岡動力部第1火力発電所のもの。作られた電気はベンベルグ工場などで使われている。

塗り替え作業が始まった旭化成の煙突。後方は延岡市街地（愛宕山展望台から10日撮影）